

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	195	防災関係経費	会計	01	一般会計
基本施策	15	自然災害等への十分な備えをする	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	20	防災費
担当部課名	大山田支所総務振興課		細目	102	防災対策経費
作成者氏名	池口 法行	連絡先	細々目	11	防災関係経費
		47-1150			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地区の住民		災害時に正確な情報を確実に伝達することにより、迅速に非難行動が取れるようになる
本年 度 事業 内容	防災機器保守委託 防災行政無線(移動系・同報系)機器等保守委託 土砂災害関連情報受信システム保守管理委託 陸上移動局免許再申請業務委託 土砂災害情報相互通報システムサーバー回線使用	
運営主体	☐ 直営 ☐ 指定管理 ☒ 民間委託等 託先: 中部電子システム(株)	根拠法令・要綱等 電波法 伊賀市防災用無線の設置及び管理に関する条例
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	2,437	2,184	2,864
	委託料	1,931	1,922	2,422
	その他	506	262	442
合計(A+B)		4,597	4,344	5,024
③財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	4,597	4,344	5,024
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
点検	年間	1	1	1
点検経費	委託料 %	100	97	94

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
無線機の適正稼働率	機器類を常時正常に機能するよう年間を通じて点検する(定期点検、随時点検)。委託先は、製造会社のソフト会社であるので機器の構造に通じており、緊急時にも対応できる。	無事故 %	100 目標 ()	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

早急な災害情報の伝達・収集を図り、災害を最小限に食い止めるため、子局の配置整備を図ってきた。
 機器の正常稼働を図るため、整備・点検を進めてきた。
 災害備蓄用品等の補正も行ったが、認められなかった。

評価	必要性	4	放送に支障を来すトラブルは発生していない。 機器の不良時には即時対応してくれる。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		